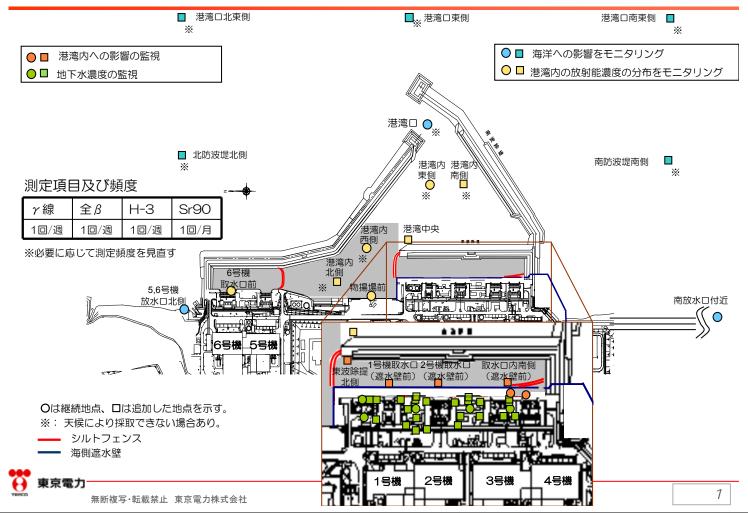
タービン建屋東側における 地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について

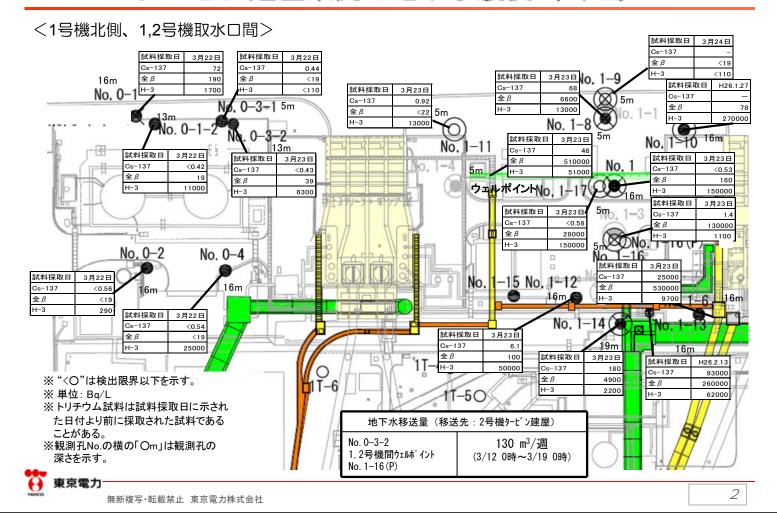
平成27年3月26日 東京電力株式会社



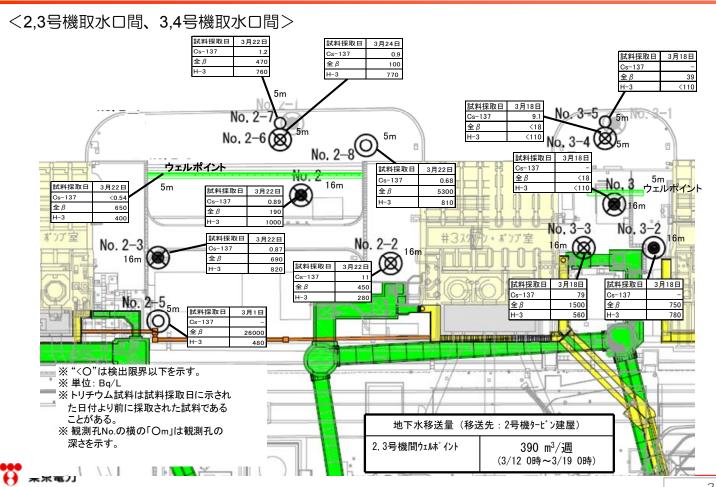
モニタリング計画(サンプリング箇所)



タービン建屋東側の地下水濃度(1/2)



ごン建屋東側の地下水濃度(2/2)



タービン建屋東側の地下水濃度の状況(1/2)

<1号機北側エリア>

- H-3濃度が高い海側のNo.O-3-2 で、H25.12.11より開始した地下水汲み上げによる効果を継続監視(1m³/日)。H-3濃度は最大で 76,000Bq/Lだったが、その後低下傾向になり、現在は 6,000Bq/L程度で推移している。
- No.O-4でH-3濃度が7月から上昇傾向にあり、現在は25,000Bq/L程度で推移している。

<1,2号機取水口間エリア>

- No.1-16でH-3、全 β 濃度とも2月以降低下傾向が見られる。
- O No.1-17でH-3濃度は10,000Bq/L前後で推移していたが、10月より上昇し16万 Bq/Lとなったが低下、上昇し、現在は10万Bq/L前後となっている。全 β 濃度は10月 に120万Bq/Lまで上昇後30,000Bq/L程度まで低下したが、2月に40万Bq/Lまで 上昇後低下し、現在30,000Bq/L程度となっている。
- 1,2号機間ウェルポイントで全 ß 濃度は3月以降30万Bq/L前後で推移していたが、 11月に入って一時300万Bq/L前後まで上昇し、現在は50万Bq/L程度で推移している。(2,3号機取水口間エリアの地盤改良部の地表処理のため、揚水量をH26.10.31より50m³/日から10m³/日に変更),



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

4

タービン建屋東側の地下水濃度の状況(2/2)

<2,3号機取水口間エリア>

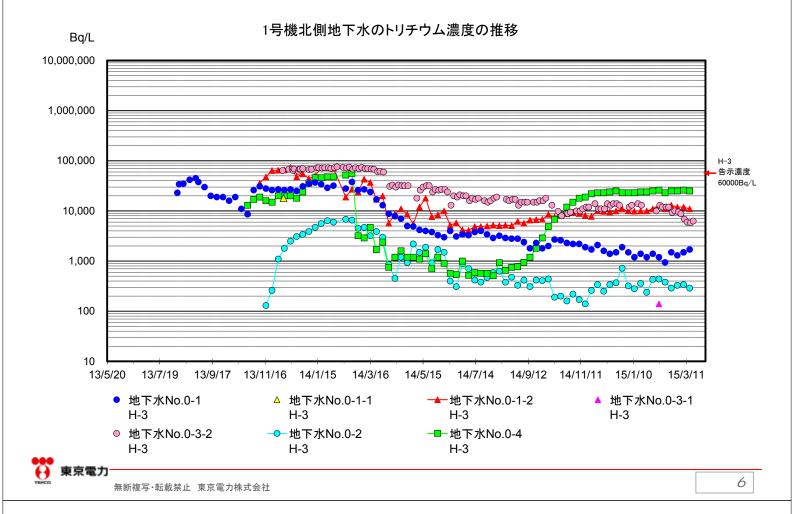
- 2,3号機取水口間ウェルポイントの H-3濃度は4月から上昇し13,000Bq/L程度となったが、低下傾向となり3月より更に低下し、現在400Bq/L程度となっている。全β濃度は10万Bq/L程度より低下傾向で推移していたが、3月より更に低下し、現在600Bq/L程度となっている。
- No.2-5でH-3濃度が1,000Bq/L程度で推移していたが、11月以降低下し、現状 500Bq/L程度となっている。
- No.2-6で全 β 濃度が2,000Bq/L程度で推移していたが、11月以降低下し、現状 100Bq/L程度となっている。
- 地盤改良の外側のNo.2-7はH25.11からモニタリングを開始し、全β濃度は 20Bq/L前後であったが、徐々に上昇し、1,000Bq/L前後で推移。
- No.2-8はH26.2よりモニタリングを開始し、全β濃度は5,000Bq/L程度で推移し 11月より低下傾向にあったが、現在5,000Bq/L程度となっている。
- ウェルポイントの揚水量を地盤改良壁の地表処理のため4m³/日から50m³/日に変更。 (H25.12.8~:2m³/日、H26.2.14~:4m³/日、H26.10.31~:50m³/日)。

<3.4号機取水口間エリア>

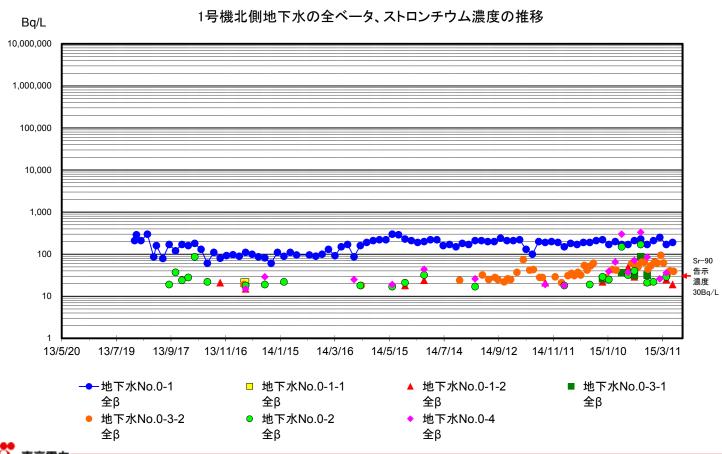
- 各観測孔とも放射性物質濃度は低いレベルで推移。
- No.3-2、No.3-3でH-3、全β濃度とも低下傾向が見られる。

5

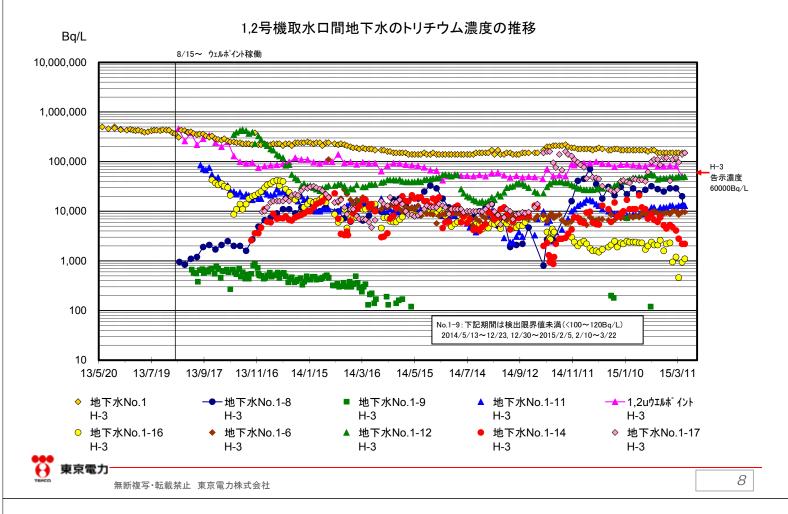
1号機北側の地下水の濃度推移(1/2)



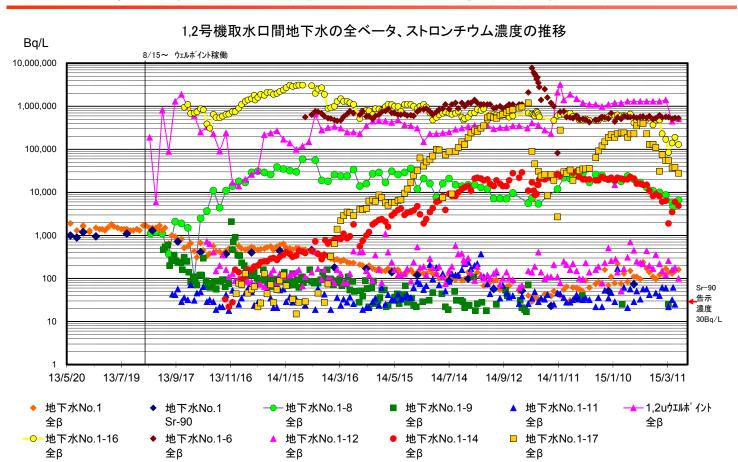
1号機北側の地下水の濃度推移(2/2)



1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

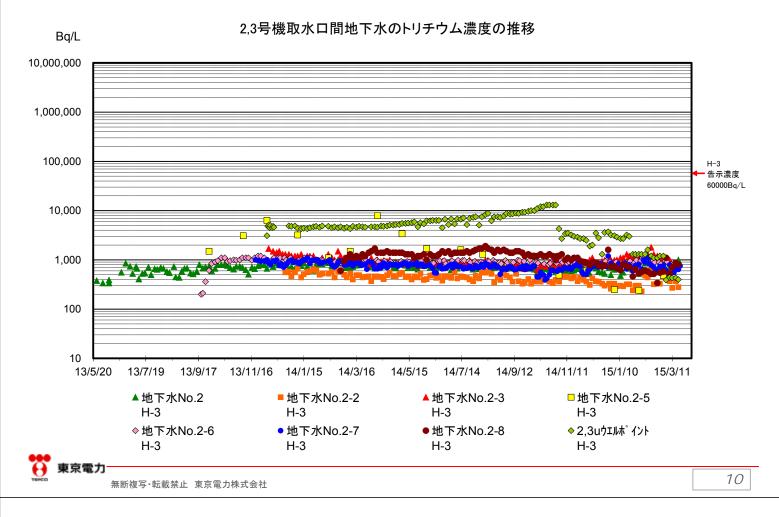


1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

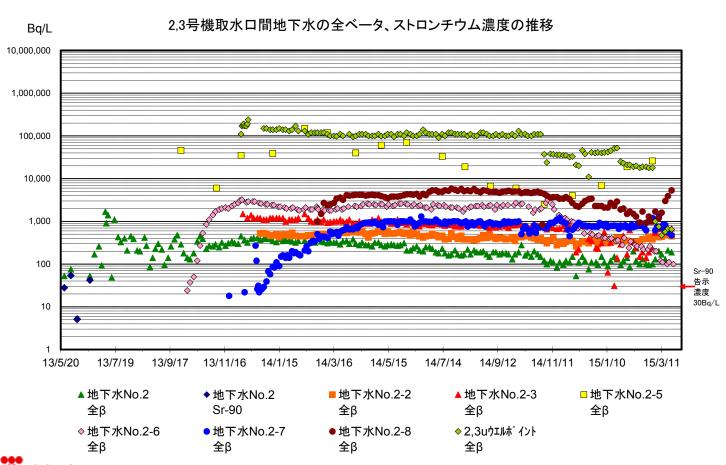


東京電力

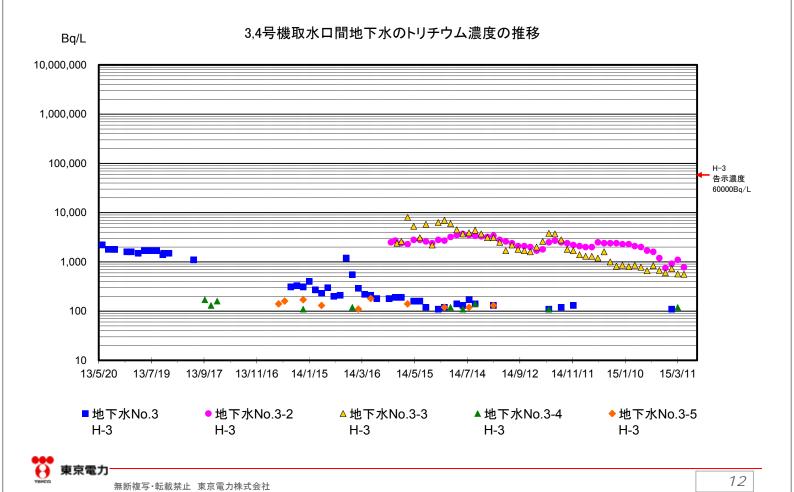
2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)



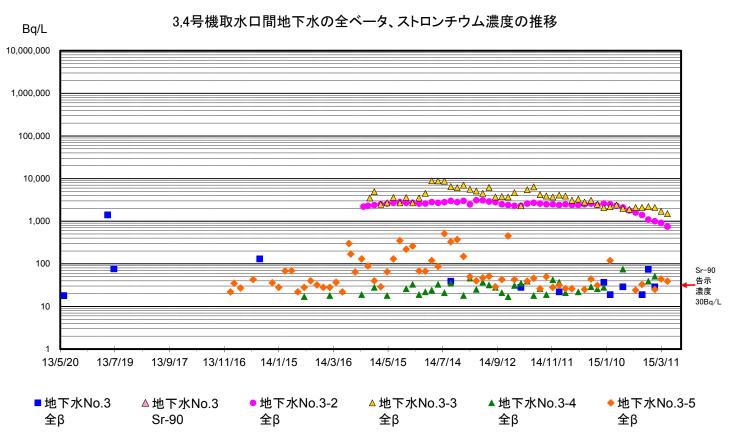
2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)



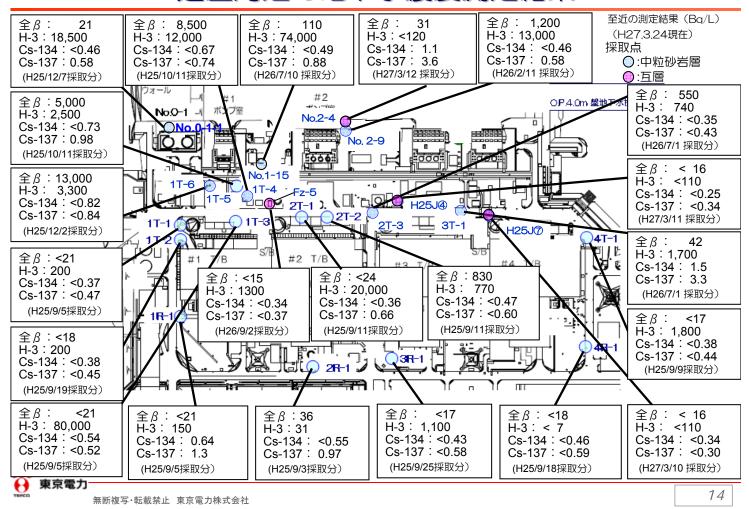
3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)



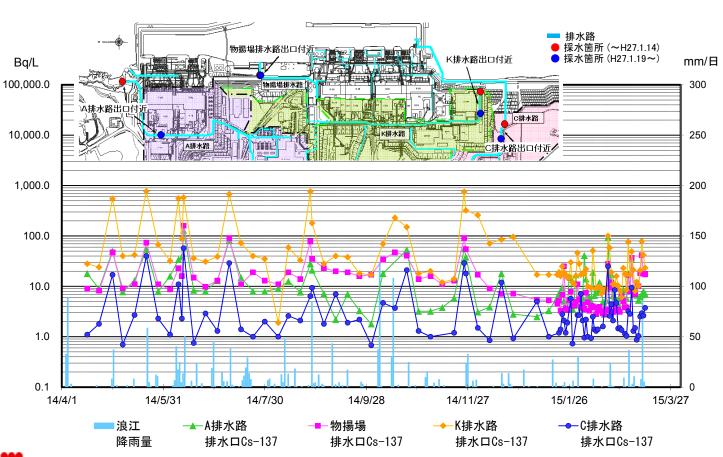
3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)



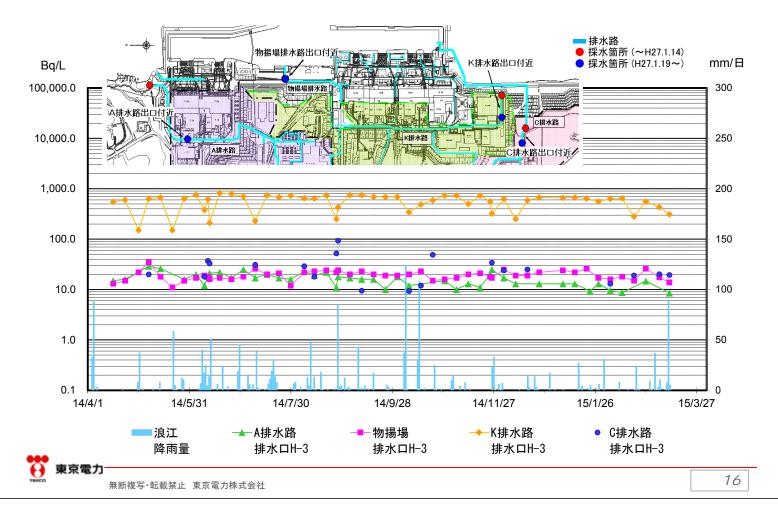
建屋周辺の地下水濃度測定結果



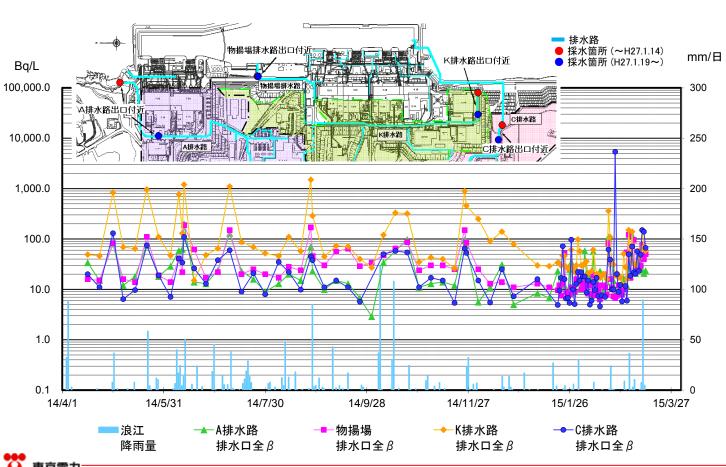
排水路における放射性物質濃度(1/3)



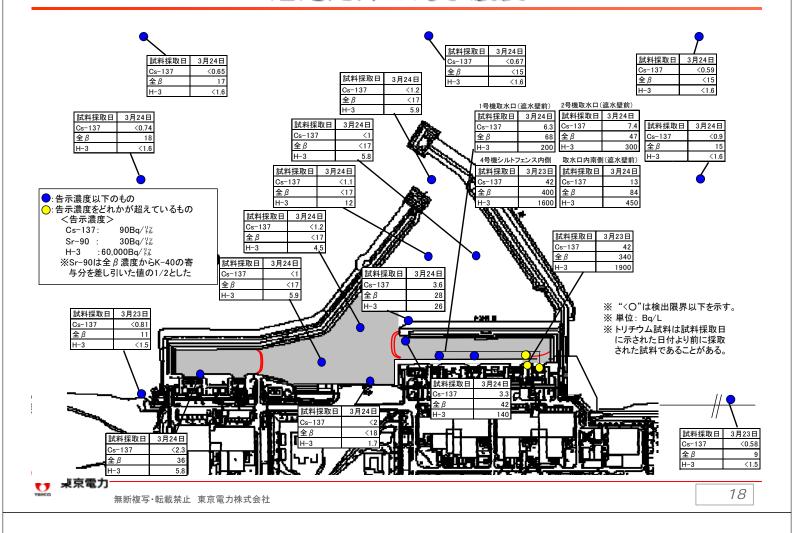
排水路における放射性物質濃度(2/3)



排水路における放射性物質濃度(3/3)



港湾内外の海水濃度



港湾内外の海水濃度の状況

<1~4号機取水ロエリア>

- 遮水壁内側の埋立工事の進捗に伴い、海側遮水壁の内側では3月以降、H-3、全β濃度の上昇が見られ、現在は高めの濃度で推移している。
- 〇 遮水壁の外側についてはCs-137、 H-3、全 β 濃度とも東波除堤北側と同レベルで低い濃度で推移している。

<港湾内エリア>

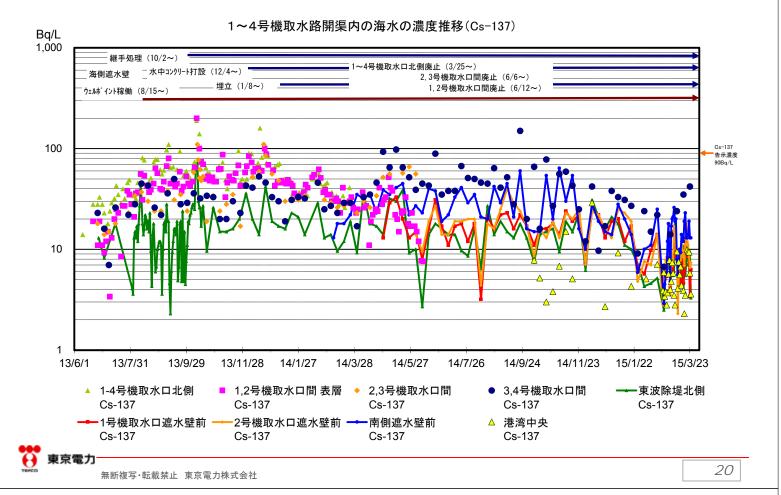
○ 緩やかな低下が見られる。

<港湾口、港湾外エリア>

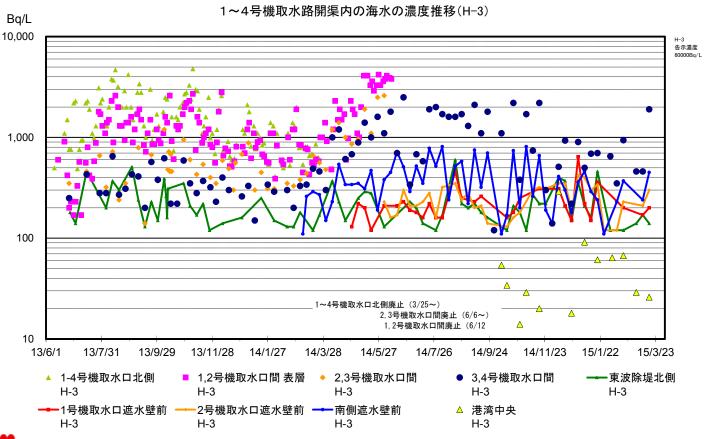
- これまでの変動の範囲で推移。
- 港湾外の港湾口北東側、北防波堤北側、南防波堤南側の全β濃度について、検出限界値未満(15~18Bq/L)が継続していたが、3/23に検出限界値と同程度の濃度で検出された。

19

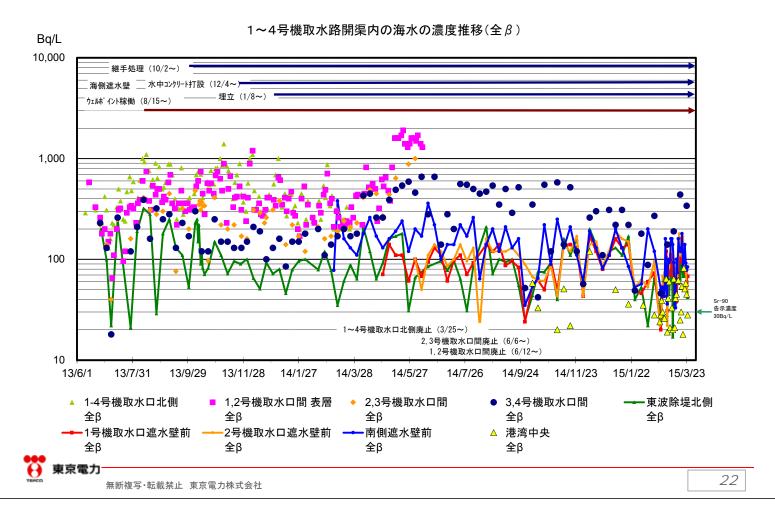
1~4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(1/3)



1~4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(2/3)

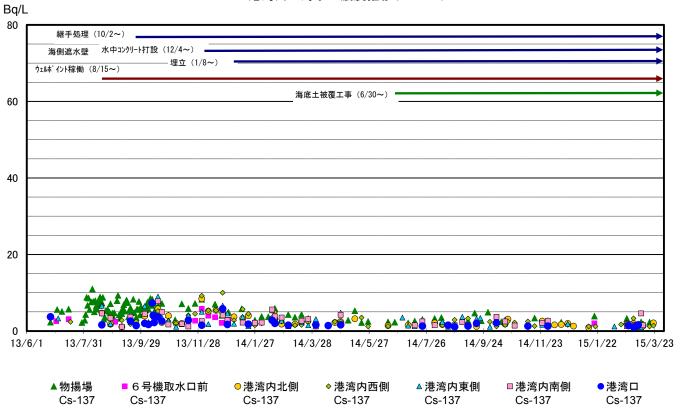


1~4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(3/3)

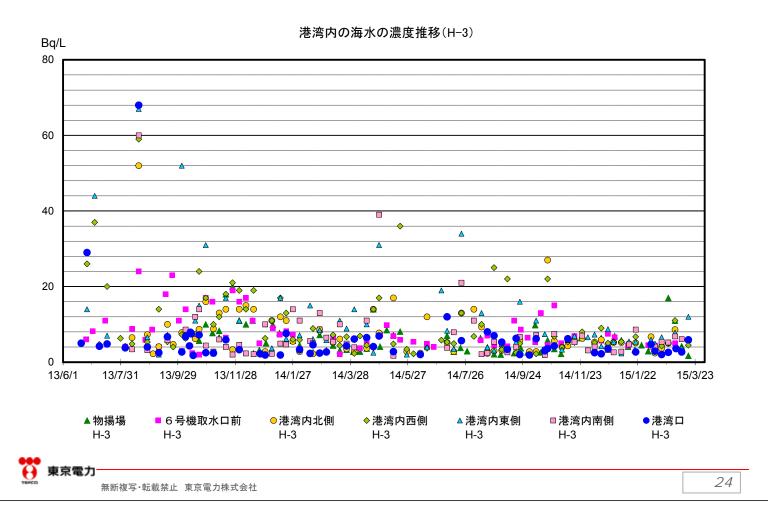


港湾内の海水の濃度推移(1/3)

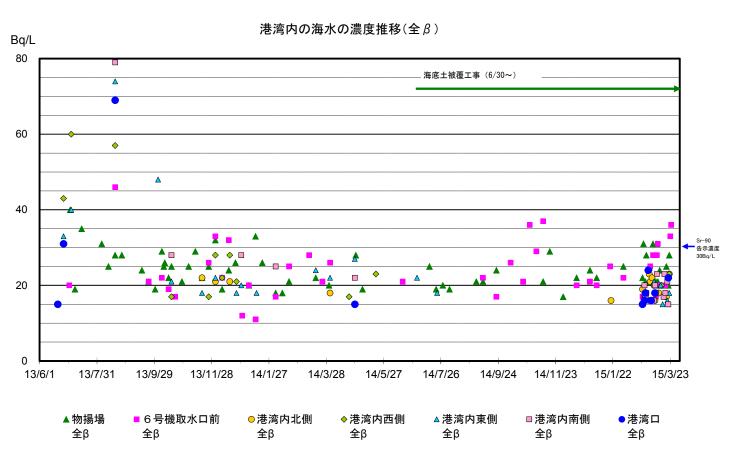
港湾内の海水の濃度推移(Cs-137)



港湾内の海水の濃度推移(2/3)

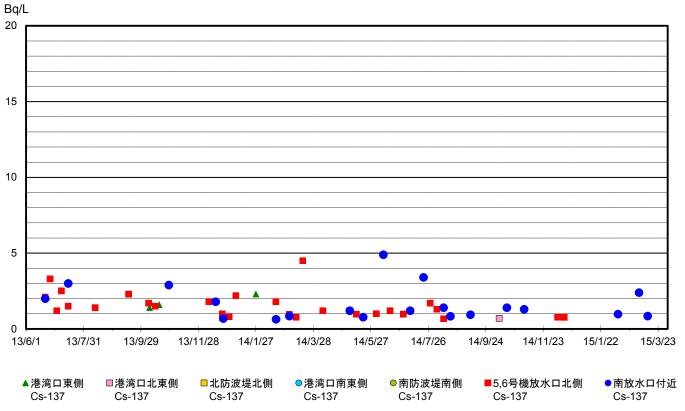


港湾内の海水の濃度推移(3/3)



港湾外の海水の濃度推移(1/3)



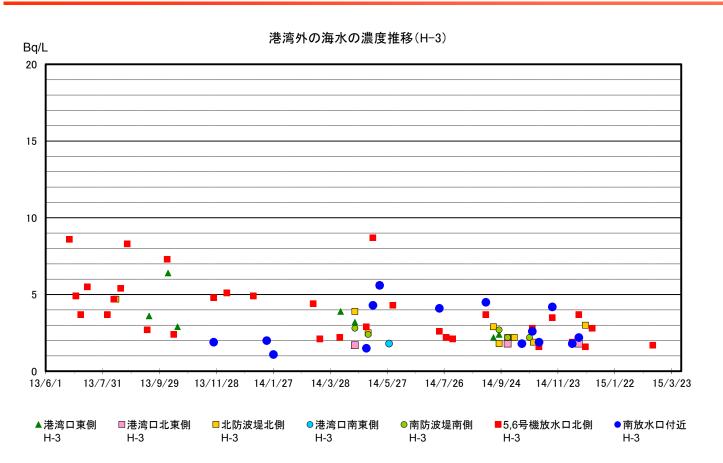


東京電力

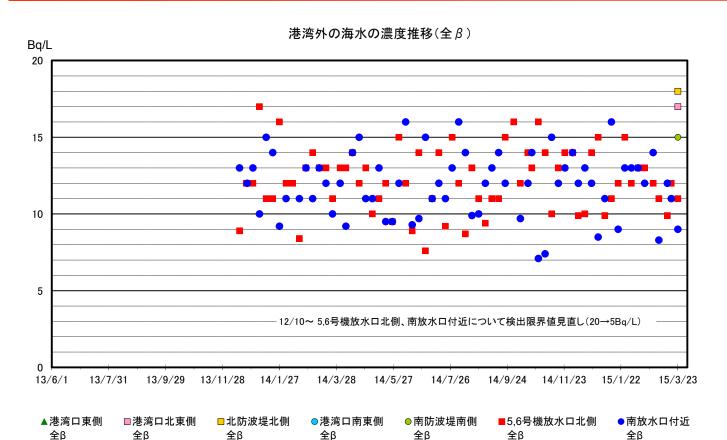
無断複写·転載禁止 東京電力株式会社

26

港湾外の海水の濃度推移(2/3)



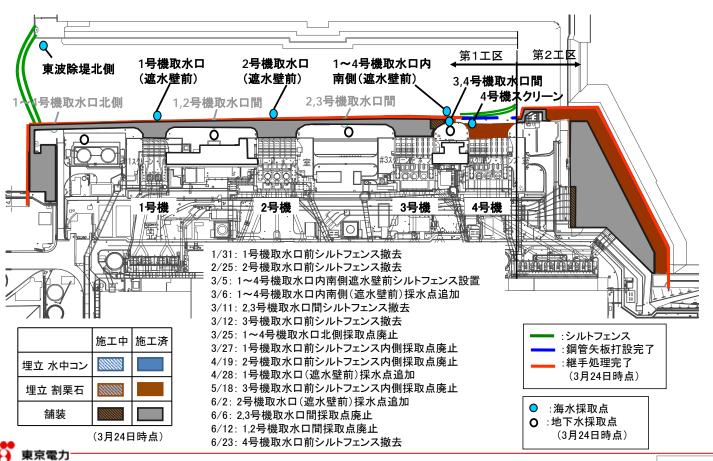
港湾外の海水の濃度推移(3/3)



無断複写·転載禁止 東京電力株式会社

28

海側遮水壁設置工事の進捗と海水採取点の見直し



港湾内海底土被覆工事進捗状況

